

## 鳩山幼稚園だより



# ピジョっこ

いっぱいあそんでいっぱいまんで みんななかよしはとやまようちえん 園長 岡部 玲子 N04 令和6月7月号

6月21日は夏至でしたが、生憎の天気で夏至は実感できませんでした。梅雨入り前に、梅雨が明けたような天気が続いていました。平年より2週間遅れでやっと梅雨入りとなりました。この季節になると田舎？郊外？では家の前や畑の脇などにタチアオイの花が咲いています。(亀井地区でもたくさん見ました)花が咲き始めると梅雨に入り、花が先端の方まで咲くと梅雨が終わると言われているようですが、梅雨入りが遅かったせいか、ずっと前に花は咲き始め、梅雨に入った頃にはすでに先の方まで咲いていました。梅雨寒という言葉は死語のように高温多湿の日が続いています。(今、職員室と応接室のエアコンが壊れてしまい、かなり厳しいです。)さて、幼稚園ではプール遊びが始まりました。順調に実施できています。



タチアオイ

## ピジョっこみんなのファーム 【幼稚園でできるESD 2024】

たくさんの農業体験から本物の食育へ — 6月の鳩山幼稚園は農繁期 —

6月はたくさんの行事がありました。特に栽培関係の取組が多かったかと思います。まさに鳩山幼稚園は農繁期のようにでした。

### ＜ジャガイモ掘り＞6月11日(火)

3月にタネイモを植えてから、6月の収穫まで3ヶ月。4月に芽が出た様子を見に行き、5月にはジャガイモの花を見て、(ジャガイモ)の花摘みをしたり、6月には茎が倒れてきたのでよいよ収穫となりました。例年より茎が倒れるのが遅く少し心配しましたが、良いジャガイモがたくさんとれました。キタアカリ、サヤアカネ、アンデスレッドの3種類です。この後幼稚園ではいつも好評だった「イモ餅」をみんなで作って食べます。育て、観察し、食する過程を大切にしている本物の食育です。その他にとれたジャガイモは一人約2.5kg持ち帰りました。家庭でも子供たちと一緒に食育に役立ててください。 **大きいジャガイモがゴロゴロ**



### ＜田んぼ体験・田植え＞6月13日(木)

素足で田んぼに入る感触や、いつも食べている日本人のソールフード「お米」について、どのように出来るのか、幼児なりの学びを育てたいと考え3年前から田んぼ体験を始めました。今年は亀井小の5年生の「総合的な学習の時間」に行っている稲作活動と一緒に参加させていただきました。営農組合さんや亀井小の校長先生、前教育長さんなど多くの皆さんのご理解・ご協力を得て体験することができました。また、当日は保護者の方も見学に来てくれました。一緒に田植えの体験をしてください。(初体験だそうです。)

本物の田んぼとは別に、今年も園庭では発泡スチロール田んぼで稲を育て始めました。昨年の籾を芽出しして苗の大きさに育ったものを、発泡スチロールの中に土と水を入れて田んぼにし、にじ組の子供たちが苗を植えました。園庭でも苗が育っていく様子が観察できます。昨年度は思った以上に実りました。子供たちが根気よくすり鉢とボールで糲摺りをし、2合位の玄米になりました。一人一人がサララップ塩結びにして食べました。玄米でしたがもちもちしていておいしかったです。亀井の田んぼも発泡スチロール田んぼもうまくいくと良いのですが、亀井の田んぼも時々園バスで見に行きたいと思います。



お家の人も一緒に田んぼに入って田植え体験



園庭で育てる発泡スチロール田んぼ



**田植えにまつわるお話**…農業が忙しい時期(農繁期)特に田植えの頃は子供たちも農繁休みとって、学校がお休みになって農業(田植えなど)を手伝うということがあったようです。鳩山村の頃にはあったのでは。子供も労働力だったのです。

亀井小の田植えは遅いように思いましたが、かつて田植えの適期は6月15日過ぎだったようです。

「10日前に行くとイネに虫がつきやすく、25日過ぎると次期遅れ。『ハゲン(半夏)過ぎはハンゴク(半石)になる』といわれハゲンの前が最終の目安」(鳩山町史別巻1参照…原文のまま)だったとか。ちょっと遅いかと思われた田植えでしたが、昔ながらならちょうど良い時期だったのです。

半夏(はんげ)…夏至から11日目7月2日目頃。半夏生が生えるのを目安に田植えの終期とされてきた。

**<ダイズの種まき>6月17日(月) 泉井交流体験エリアとの連携事業第2弾**

今まで普通の枝豆(黄色系)や茶豆、鳩山産黒大豆(宇宙大豆)の栽培に挑戦しましたが、満身に出来たことは一度もありませんでした。今回は農業指導者の大塚さんに、大豆栽培を教えてもらえることになりました。当日までに畑の準備もしてあり、子供たちは一人1列20cmの間隔で2粒ずつまきました。始める前には大塚さんから、芽が出て成長し、枝豆で食べた後は大豆にして味噌作りへとつなげていきます。子供たちは自分たちがまいた種が5日位経つと芽を出し、小さな白い花を咲かせてやがて大好きな枝豆になり、そのまま畑に放置するとダイズになって、いろいろな食品になることを幼児なりに活動の導入として知ります。子供たちは自分たちがまいた種の5日後を楽しみに待つこととなります。

さて、小学校3年生の国語で「すがたをかえる大豆」という教材がありますが、まるでこの活動(大豆の栽培)のその後のようです。子供たちの中できっと残るものがあると思います。種をまいた次の日が雨で、5日後にはきれいに芽が出ました。

\*この日は山村短大の学生がグループ学習で来園していて一緒に手伝ってくれました。



ダイズが育つ様子を話してくれました  
**【その他のESD】**



ダイズの種まき意外と難しい



一週間できれいに芽が出ました

これからも継続して様々な栽培物のお世話や観察をして、たくさんの実りにつなげていきたいと思います。



水やり



植えられるのを待つ苗



ザリガニ観察



プランターの草取り

**活動の流れ<7月>**

時期	もも さくら 組	にし組
7月上旬 中旬 下旬	<p>シャボン玉で遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大小色々なシャボン玉を作って遊ぶ。</li> </ul> <p>七夕の飾りを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短冊に願い事を書いて飾る。</li> </ul> <p>水遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で水着の脱ぎ着をする。</li> <li>・指絵の具で遊ぶ。</li> <li>・園庭で水鉄砲で遊ぶ。</li> <li>・プールでの約束事を知って遊ぶ</li> </ul>	<p>シャボン玉で遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きなシャボン玉を作る。</li> </ul> <p>七夕飾りを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・願い事を短冊に書く。</li> </ul> <p>観察絵を描く。</p> <p>水遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指絵の具で遊ぶ</li> <li>・園庭で水鉄砲で遊ぶ。</li> <li>・プールの約束を守って遊ぶ。</li> </ul>



<詩の投稿について>読売新聞への「こどもの詩」を再度募集します。提出されたものはまとめて投稿します。

# 【6月のピジョっこフォト】

## 図書館訪問



ビデオ試写会



## 車製作



街も出来た!



!

## 1学期最後の保育参観 6月20日・21日



もも・さくら組



七夕飾り



にじ組・中あて



リズム楽器演奏

＜幼稚園の毎日＞ 幼稚園では大きな行事の他にも日々の遊びの中でいろいろなことを学んでいます。遊びの工夫もたくさん見られます。教育委員会訪問もありました。町内小中学校同様、見守ってもらっていると感じました。



虫歯予防デー



ピワ狩り



ミニトマトそろそろかな?



避難訓練



給食風景



ピタゴラスイッチ



絵具遊び



かけたよ!



教育委員会訪問



水遊び



指絵の具で遊ぶ



お化け屋敷

お化け屋敷にご招待を受けました。こわかった!



HELP!  
(サツマイモの気持ち)

どこかの原っぱのようですが、草の中から辛うじて覗いている名札が見えるでしょうか? 5月29日にサツマイモを植えた「ピジョっこファーム」のさつまいもです。今週草を取りましたが、8月23日の園舎清掃までそのままにすると、この写真以上の草だらけになると思います。暑い時期ですが、時々畑に行くとサツマイモの周りの草を取ってもらえると、収穫量が増えるのではないかと思います。とった草は「草マルチ」としてサツマイモの周りに置いておくと良いそうです。



これなんだ?

ちょっと見ると蝶のように見えますが、実は「クロメンガタスズメガ」という蛾です。幼稚園ではこの蛾の幼虫がよくナスについていて、むしゃむしゃと葉や実を食べているのを見かけました。写真の成虫はさくら組の部屋の隅っこで越冬し成虫になったようです。



# げんきっこ！ もも・さくらぐみ

## <ピジョっこ学級通信>



『はしるのだいすき！』

もも組担任 窪田幸恵 さくら組担任 坂野蘭菜

5月に入ってから、ホールでダンボールで作られている家を使って「オオカミさんいまなんじ？」というゲームに繰り返し取り組んでいます。教師がオオカミの役になり、家から飛び出してきた子供たちが、次の家に入るまでの間にオオカミから逃げるゲームです。

ゲームのルールが分かるまで戸惑っていたもも・さくら組さんでしたが、ルールが分かると、大きな声で「いまなんじ？」と言えるようになりました。繰り返し取り組むと、「次は私がオオカミやりたい！」と伝えて、にじ組さんを誘って順番にオオカミの役をやったり、「こっちだよ！いそいで！」と逃げる友達に声を掛けたりして、みんなでゲームを楽しむ姿が見られるようになりました。



5月の保育参観の頃から、走ることが大好きなもも・さくら組さん。友達と一緒にの生活に少しずつ慣れてきたところで、みんなで走り回ることを楽しむゲームを取り入れました。オオカミから逃げる時には、「キャー」と声を出しながら、笑顔を見せて走り回れるようになりました。引き続きみんなで一緒に、のびのびと遊べる場を作っていきたいと思っています。

## にじいろ

『☆友達の言葉☆』

にじ組担任 星野佐和子



水遊びが始まると、「先生、今日も雨どいで遊びたい！」と色々な形の雨どいを砂場で組み、水を流す装置を作る“雨どい遊び”が始まります。今、その遊びに夢中のA君、B君、C君、この日も早速雨どい遊びが始まりました。段々と組み上がっていく雨どいを見てA君は「水は高い所へは上らないよ！」と、B君に伝えます。すると、B君は少し考えて「砂を掘って低くすればいいんじゃない？」と、流れ着く先が低くなるように砂を掘り始めました。それを見ていたA君も「うんうん。」といった様子で再度、雨どいを並べ始めました。暫くして、全体を見渡したA君は「B君、その重ね方は逆にした方がいいよ！」と声を掛けました。すると「えーなんでだよ！」と、少し納得のいかない様子のB君。私もA君に「どうして逆にした方がいいの？」と、問いかけるとA君が「このままだと、水が逃げちゃうからだよ！」と、理由を伝えました。「へーそうなんだ！」と納得したB君は、重ね方を上下逆にして組み直しました。そこへ、C君が「ねえ、そろそろ水を流してみたいな！」と2人に声を掛けました。「いいね、そうしよう！」と、わくわくした様子で流した水は、上手くコースを流れていきました。3人は「やったー！流れた！」と、とても盛り上がり、その後も手直しをしながら遊び、満足そうな3人の姿がありました。



初めは雨どいを上手く組めずに、失敗もしていたけれど、友達と一緒に雨どいで遊んだことで盛り上がり、色々なアイデアが浮かんできた男の子達！にじ組になり、友達の言葉を受けて遊びを作り上げる楽しさを味わえる姿が見られるようになってきています。これからも、遊びの中で子供たちそれぞれが持つ素敵なアイデアに気付けるような場を沢山作っていきたいと思います。